

한청통신

韓 青 通 信



在日韓国青年同盟 機関紙

2013 年 夏号



平和と統一を求めて 「P's キャンペーン」 展開

私たちの6・15実践！朝鮮半島の平和のための思いをフォトメッセージで！

04



躍動する若き獅子たち！韓青の夏！
青年が最もはじける夏のスタートに迫ります

02

【全国活動紹介】

活動、イベントを通してみんなと団結

06

【停戦協定 60 年 特別企画】訪れない戦後～朝鮮戦争

Vol. 2 民族の悲劇 - 朝鮮戦争勃発！

07

国家情報院こそ反国家団体だ！

「国家情報院ゲート」を韓青視点で分かりやすく解説

08

【歌い継ぐ闘争の歴史】『님을 위한 행진곡』

愛も、名誉も、名前も残さず...

全国活動紹介



5月26日、大阪市生野区の新今里公園で、第20回統一マダン生野が開催されました。今回のマダンでは、20回の記念にふさわしく、画期的な取り組みが数多く行われました。

まず注目は、会場を走る統一列車！蒸気機関をつかった本物仕様の列車に、子どもたちはもちろん、大人も殺到！祖国の南北をつなぐ鉄道の再開を願って走らせました。

また、韓青大阪は今回、マダンでは史上初、朝青大阪本部と合同で創作劇「京義線に乗って」を発表。南北の葛藤で揺れる在日同胞が、知恵と勇気を振り絞り、京義線再開にむけて活躍するという統一を前面に押し出した演劇を披露しました。同胞青年が文字通り「ハナ（一つ）」となる劇は会場に大きな感動を呼びました。

南北の対話情勢が一進一退を繰り返している今、私たち青年から統一をアピールすることができたのは、とても意義深いことでした。6・15共同宣言の実践に向け、これから大阪本部は走ります！

大阪

京都

韓青全国の同志 여러분, 안녕하세요! 韓青京都です。まずは韓青京都が普段どんな活動をしているかご紹介したいと思います。

京都では毎週水曜日に우리말(ウリマル)学習会、隔週金曜日に朝鮮半島史学習会、他には集会や統一마당(マダン)へ積極的に

に参加し、同胞青年との交流を深めています。そしてこの度、8月に開催される『韓青全国統一サマーキャンプ』での文化発表出演を目標に、毎週日曜日開催の【民族楽器教室】がスタートしました！演目は운우풍뢰(雲雨風雷、ウヌプンネ)で、次号ではその様子を紹介できると思います。お楽しみに！

それでは近況報告ですが、去る5月15日に春期우리말(ウリマル)開講式を開催しました！また、ただ今韓青全国で展開している『P'sキャンペーン』を開講式で実践しま



した！写真がその様子です。これからも韓青京都、ドンドン活動の幅を拡げて、皆様に良い報告が出来る様がんばります！

감사합니다(カムサハムニダ) ☆



韓国語教室

「ムグンファ」

見学・体験レッスン随時受付！

担当：金梨恵 (私・イ)
080-6510-1973

韓国語教材専門店 **ハングルの森**



korean textbook shop

한글의 숲

<http://www.rakuten.co.jp/eac-hg/>

兵庫県本部では、地域同胞青年にもっと韓青兵庫を知ってもらおう！ということで、5月19日（日）に、『在日コリアンユース大交流会！』を開催しました。この間、チラシをポスティング、また多くの店舗に貼ってもらいましたが、同胞の店ではたくさんの応援の言葉も頂くことができました。

目玉企画の『ビンゴ』では、特賞『タブレット』を狙ってみんなで大盛り上がり！日常活動紹介では、6月から新たに始まるギターサークルの紹介も。手作り料理の김밥(キムパブ)、전(ジョン)、から揚げなどに舌鼓を打ちながら、久しぶりに会う仲間や初めましての仲間と、たくさん話してたくさん笑って、目一杯の交流をすることができました。そして、この交流会で久しぶりに出会った仲間が、統一マダン神戸に参加をしたり、ギターサークルへの参加も決まったりと、嬉しいその後もありました～！

これからも、地域同胞青年と共に歩いていけるよう、こんなお楽しみ企画も定期的に行っていきたいと思います！

兵庫





アンニョンハセヨ！韓青愛知です♪

韓青愛知は5月18日（土）に本部にて春期ウリマル（韓国語）開講式を開催しました！当日は、ウリマルを使って行うゲームに全員大盛り上がり。

景品をかけてみんな必死になりました（笑）その後はチヂミやプルコギを作って韓国料理を食べよう！ということになりましたが、調理中、みんなの熱気（？）により突然ブレーカーが落ちました（笑）すぐに復旧ができなかったため、1階の応接室へ大移動。応接室は、一気ににんにくと唐辛子の臭いにつつまれました。料理を食べながら、「みんなで山を登りたいね！」「スポーツで体を動かしたい！」など、外でのレクリエーションを通して親睦を深めたいね♪という意見がでました☆これからも様々な活動、イベントを通してみんなと団結しながらサマーキャンプ、P'sキャンペーン宣伝活動を盛り上げて行きましょう！

（写真は、日常活動後の様子です。毎回必ずみんなでご飯を食べに行きます☆メンバー大募集中です！！）



アンニョンハセヨ。韓青三重です。

10.4 共同宣言7周年記念行事に向けてP'sキャンペーンに力を入れてます。この全国運動を展開する過程で様々な良心的な団体と交流し親睦を深め、平和に対する思いを共有し連帯関係を強化しています。

4月29日に韓青愛知の仲間と共に三重の地でピースネット 5.3 の集いに参加し日本の人たちの前で私たちが在日青年達の祖国に対する思い、平和に対する思いを主張し、大きな賛同を頂きました。その他にも様々な場所へと足を運び、朝鮮半島の統一と平和を主張しています。

写真は三重の常任たちが朝鮮学校の運動会に赴き、暑い中頑張っている様子です。



たくさん賛同して頂くとともに、唐揚げやノリ巻きなどを差し入れを頂きました。たくさんの笑顔と温かい言葉に感動しました。今後もこの運動を大成功にするため、全国の同志たちに負けないくらい頑張っていきたいと思います。



東京本部はこの春、同胞青年に出会いうことを一番の目標にして、様々な宣伝活動を展開してきました。一部を紹介すると「開講式ビラ密集地ローラー作戦」「店員さん、いらっしゃーい！打ち合わせは同胞青年の働く店で」「いまさら mixi 大作戦」などで新たな出会いを作り出し、「東京 BBQ 大会」や「俺たち版 SASUKE！アスレチックレク」などのレクで楽しさを共有し、とどめに「春期ウリマル教室開講式」で韓青の魅力を伝える。このようなコンボで、同胞青年の心をノックアウトしてきました。いま韓青東京にはまり出す青年、増えてますよ！

もちろん全国で展開しているP'sキャンペーンや政治実践活動も政治一番地の地域性を活かして、前のめりに行っています。一騎当千の力、見せつけてます！最後に、この夏の統一マダンやサマーキャンプでは、若手の活躍に期待してください。うちの若いのが、グイグイいきますよ！



HANCHUNGで韓国語

地域	本部	支部	
東京地域	千代田区神田佐久間町 3-21-401 各電鉄 秋葉原駅 徒歩5分	土曜支部 大阪市生野区桃谷 3-13-6 JR 桃谷駅 徒歩10分 地下鉄 今里駅 徒歩10分	
大阪地域	大阪市生野区桃谷 3-13-6 JR 桃谷駅 徒歩10分 地下鉄 今里駅 徒歩10分	市役支部 東大阪市岸田堂西 1-3-8 近鉄 布施駅 徒歩10分 地下鉄 北斎駅 徒歩10分	
神奈川地域	横浜市神奈川区青木町 2-1-207 各電鉄 神奈川駅 目黒 各電鉄 横浜駅 徒歩10分	府庁支部 名古屋市七松町 3-3-13-1F JR 立花駅 徒歩7分	
愛知地域	名古屋市中区鶴舞 3-8-10 愛知労働文化センター3F 各電鉄 鶴舞駅 徒歩10分	兵庫地域	本 部 京都市下京区西洞院通堀小路下 キャンパスプラザ京都内会議室 各電鉄 京都駅 徒歩5分
三重地域	四日市市本町 8-16 山下ビル JR 四日市駅 徒歩2分	広島地域	本 部 広島市西区橋本町 1-7-21-203 JR 橋川駅 徒歩5分
京都地域	京都市下京区西洞院通堀小路下 キャンパスプラザ京都内会議室 各電鉄 京都駅 徒歩5分		

※ 所在地 交通アクセス

全国8都市9教室！

韓青韓国語教室の ▶▶▶ ☎ 0120-734-101
申込み・問合せは ▶▶▶ ✉ chuo@hanchung.com



熱いぞ！韓青の夏、民族の夏

平和と統一を求めて「P's キャンペーン」展開

私たちの6・15実践！朝鮮半島の平和のための思いをフォトメッセージに込めて



今年の7月27日、朝鮮戦争の停戦協定締結から60年を迎えます。言い換えれば、朝鮮半島はこの60年もの間「撃ち方止め」に過ぎない停戦＝準戦時状態のまま放置され続けてきました。駐韓米軍が唯一の外国軍隊として朝鮮半島に居続け、停戦状態のまま放置されていることが、朝鮮半島における戦争危機の根源です。

朝鮮半島の停戦状態を恒久的な平和体制へ転換するために、韓青では今年「P's (ピース) キャンペーン」を全国各地で展開しています。4月のスタートから3ヵ月、これまでの取り組みを紹介していきます。

中部地域で行われた「ピースネット5.3」の会場では、揃いのTシャツでアピール！平和を求める多くの方に賛同とメッセージをいただき、全国的にこのキャンペーンが広がっていく起爆剤になりました。

全国で開催されている統一マダンでもブースを設けてアピール！まずは大阪と神戸で、統一への熱いメッセージがたくさん集まりました。写真を撮るのが追いつかないくらいで、この先の統一マダン東京での大爆発も大いに期待されています。

また、大阪や東京の在日同胞密集地では硬派に街頭情宣も行い、各現場では誰もが楽しんで参加できるようメッセージ内容や表現に創意工夫を凝らすなど軟派（笑）に展開しています。

現場で取り組む幹部・盟員からも「署名だけより笑顔とメッセージがやりがいにつながる」「朝鮮半島が平和メッセージで埋まっていくのがいい」「楽しみながら参加してくれるのが嬉しい」「ビジュアル命！」などの声が多く寄せられており、主体的に活動に取り組んでいることが伝わってきています。7.27も近づいてきて、ますます全国での実践が熱を帯びていくでしょう。

「P's キャンペーン」全体の進捗状況に関しては、韓青のホームページ内の専用サイトにアップされています。また、6月からはFacebook ページも開設されています。

まだまだフォトメッセージを集めていますので、まだの方はぜひご参加を！

「P's キャンペーン」は、平和・統一に向けたフォトメッセージを集め、それをつなげて平和を求める人で埋めつくされた巨大な統一旗（朝鮮半島図）を作る取り組みです。完成した統一旗は、朝鮮戦争の停戦60周年にあたる7月27日に韓国で行われる平和協定締結を求める国際イベント、また6・15日本地域委員会主催の10・4宣言60周年記念大会（10月初予定）で披露される予定です。

躍動する若き獅子たち！韓青の夏！

青年がもっともはじける夏の取り組みにせまる！

今年も夏がやってきました！私たち韓青が最も精力的に活動する季節であり、気温の上昇とともに青年の祖国・民族に対する気持ちも熱くなる季節です。

今年は平和協定の締結と南北共同宣言履行のための運動を4.19～10.4の期間を通じて取り組んでいます。中でも7.27、8.15がど真ん中にあるこの夏期は、一番熱く燃えあがり、もっともはじけて活動を展開する期間です。朝鮮半島の平和実現、祖国の自主的平和統一のために

韓青全国が一丸となって活動にまい進している様子を「P'sキャンペーン」を中心にお伝えします。

また、一方で夏といえば韓青の誇る一大イベント「夏期講習会（通称：サマーキャンプ）」の時期でもあります。今年のサマーキャンプは3年ぶりに全国統一で行われるということもあって、力の入り具合も半端じゃありません！いよいよ来月に迫ったサマーキャンプに関しても、全国の取り組みを紹介します。



第47回全国夏期講習会 - SummerCamp2013

韓青の誇る夏の一大イベント「第47回全国夏期講習会（サマーキャンプ2013）」が、来る8/2（金）～8/4（日）の2泊3日で開催されます。

今年の開催地は、大自然に囲まれた三重県熊野市の湯ノ口温泉。源泉かけ流しの天然温泉が魅力の宿舎です。しかし、今回この地で講習会を開催するのは、私たちのルーツ、在日同胞の渡航の歴史と日本の植民地支配の歴史をフィールドワークを通じて学ぶことが目的です。

朝鮮人強制連行・強制労働の歴史を現場であった紀州鉾山で体感し学ぶことで、差別・排外主義がまかり通っている日本社会でも、私たちが民族的に生きる芯を作る。特に10代20代の若い青年にとって、楽しいだけでなく「生きる力」となるような内容になっています。

もちろん全国の仲間が集う中、キャンプファイヤーやバーベキューなどのレクリエーションや、夜通し語り合う討論会や民族楽器の発表、ウリ文化体験などの企画も盛り沢山です。盛大に開催されるサマーキャンプ2013、在日同胞青年ならば必ず参加でしょう！



第47回韓青全国夏期講習会
2013年8月2日（金）～4日（日）
費用：一般 19,800円 / 高校生 16,000円
（交通費・食費・イベント代込み）



日程：2013年8月2日（金）～4日（日）
場所：三重県熊野市 湯ノ口温泉（三重県熊野市紀和町湯ノ口10番地 0597-97-1126）
費用：一般 19,800円 / 高校生 16,000円（交通費・食費・イベント代込み）



その他の
夏の取り組みも
紹介します。

第2回
統一マダン東京

7月28日

（朝鮮戦争停戦50周年）
ソウル・ピョンヤン・東京
リレー国際シンポジウム

2013年8月1日（木）
午後9時開演、開演中、閉会中

光復節 68 周年
在日韓国人集会

8月11日

ひとづきはるうみはのまづり
ハナ・マダン
おまがさき

8月25日

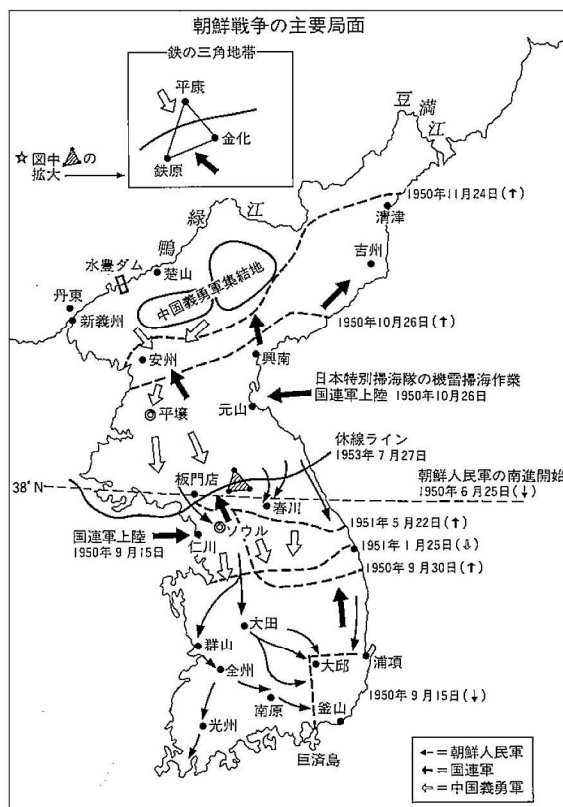


【停戦協定 60 年 特別企画】

訪れない戦後～朝鮮戦争

Vol. 2 民族の悲劇 - 朝鮮戦争勃発！

3 年間の総力戦となった朝鮮戦争



▲ 朝鮮戦争の展開

南 北に政治体制の異なる分断国家が成立し、日増しに米ソ冷戦対立が深まることで、朝鮮半島には戦争の危機が迫ってきました。1949年から開戦までの1年間、南北は38度線を境に1,000回以上の軍事衝突をくり返し、多数の死傷者が発生するほどでした。

そして1950年6月25日、朝鮮戦争が勃発しました。北朝鮮の人民軍は38度線を突破して南下し、国連では安保理が召集され国連軍の編成と朝鮮半島への派兵が決定しました。国連軍の約90%は米軍で構成され、マッカーサーを総司令官に任命、7月18日には李承晩大統領が韓国軍の作戦指揮権を米軍に委譲しました。

国連軍は9月15日の仁川上陸作戦を契機に戦況を巻き返しますが、10月19日には中国人民義勇軍が参戦、再び戦線を南方へと押し戻しました。50年末には、米軍が原子爆弾の使用すら検討していました。こうして朝鮮戦争は、さながら「世界大戦」の様相を呈しました。

その後戦況はこう着し、51年7月から休戦会談が始まります。2年にわたる難航の協議のすえ53年7月27日、国連軍・朝鮮人民軍・中国義勇軍との間で停戦協定が結ばれました。韓国は戦争継続を訴えて協定には参加しませんでした。

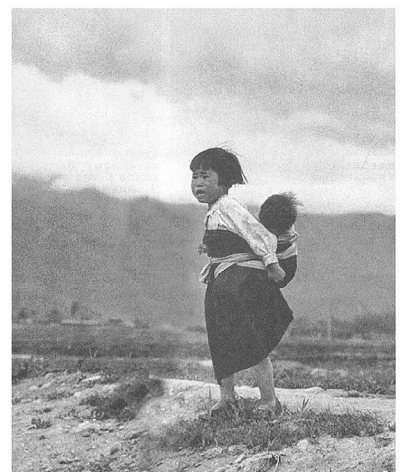
甚大な被害と分断の固定化

戦 争を通して、南では100万人が死傷してほとんどの産業施設が破壊され、北では300万人以上が死傷して産業施設も完全に破壊されました。そして約1,000万人もの離散家族が生み出されました。戦争は南北の不信と対立を深め、分断を固定化させました。

特に米軍による北朝鮮への大規模な空襲は、民間人死亡者を増大させました。停戦協定発行1分前まで絶え間なく続けられた空襲では、合計47万6000tの爆弾が北朝鮮に投下されましたが、これは太平洋戦争期間（3年8ヶ月）に各国に投下された爆弾量に匹敵しました。米軍は「北は100年たっても2度と立ち上がれない」と公言しました。

また90年代以降、韓国における米軍の民間人虐殺の実態も次々と明らかになり、米軍の戦争犯罪を告発する声も高まりました。

休戦から60年。今も「撃ち方やめ」の“戦争状態”が続いています。



▲ 戦争孤児となった子供たち

한정 시점으로
현 정세를
해설합니다

韓青視点

現在韓国では、「国家情報院ゲート」と呼ばれる国情院（国家情報院）による大統領選挙世論操作や政治介入の疑惑と、それに対する政府の対応を巡って、大きな国民的な議論が巻き起こっています。政権維持のために手段を選ばない朴槿恵大統領、政府の民族と国の利益をかえりみない姿勢は、国民から大きな反感を

買っています。

これに対し、大学生による時局宣言を皮切りに、怒りの声は国民に連鎖し、全国各地で連日連夜キャンドルデモの開催へとつながっていています。重大な局面に入っている韓国政治のいまを、韓青の視点で解説していきます。

国家情報院こそ反国家団体だ！

国家情報院による憲法秩序の破壊！
朴槿恵政権をキャンドルの炎が包囲する！



暴かれた国家情報院の本質

政権発足から半年にも満たない朴槿恵政権ですが、「国家情報院ゲート」と呼ばれる疑惑の対応を巡って、政権維持のために手段を選ばず、民族と国の利益をかえりみない姿勢を露骨化し、国民から大きな反感を買っています。

「国家情報院ゲート」とは、大統領選挙を半年後に控えた昨年の6月15日、元世勲・前院長が国情院の全体部署長会を開き、その場で『従北左派勢力』が国会に多数進出するなど社会のあらゆる分野で羽ばたいている。彼らが社会に参加できないようにして国情院の存在意味を作らなければならない」という指示があったとされる疑惑です。

ソウル地検の特別捜査チームによる調査の過程で、「前院長がそうした趣旨の発言を普段から言い続け、職員に伝播・蓄積された状態であった」こと、院内の心理戦団職員70人余りがインターネットサイトに数百のIDを捏造しながら、文在寅候補に対する否定的なコメントをしていたことが明らかになり、ほかにも選挙介入関連12件、政治介入関連10件の指示を与えたとされています。

これらは、公務員の地位を利用した選挙運動の禁止（公職選挙法85条1項）と、国情院職員による政治関与の禁止（国家情報院法9条）といった違

法行為であるばかりか、前政権から引き継がれた政府と国情院の反民主性を満天下にさらす結果となりました。与党・セヌリ党の議員からも「保守陣営は『従北』概念を乱用してきたことを自己反省しなければならない」との声があがっています。

軍事政権時代の手段を用いる朴槿恵政権

この事態に対して朴槿恵政権と国情院は、隠蔽・縮小・歪曲の手段で乗り越えようとしています。

黄教安・法務部長官は、捜査チームからの前院長に対する拘束令状請求を2週間以上にわたり無視し続けた挙句、世論の求める拘束ではなく不拘束の断を下しました。セヌリ党は国政調査を拒否し続けてきました。また、この問題の核心的部分に踏み込んだYTN（連合ニュース）に対して国情院からの圧力のため報道が中断されたことをYTN労組が明らかにしています。

そうした姿勢に、多くの国民が怒りの声をあげました。口火を切ったのは学生でした。ソウル大の総学生会は6月20日に記者会見を最高検察庁前で開き、「権力機関が政権の犬となって国民を統制する現実、軍事政権下とどこが違うのか」と指摘しました。その後、様々な大学の学生たちが立ち上がり、その怒りの輪は多くの国民に連鎖し、「国政調査実施を求めるネット署名」がわずか4日で10万人を突破

しました。そして今、連日連夜、ソウルをはじめ全国の主要都市でキャンドルデモが行なわれています。

このような世論が高まるや、国情院は2007年の南北首脳会談の会議録を唐突に公開（6月24日）し、時を同じくして朴大統領は「NLLは若者の血で守ったものだ」と発言しました。また、26日には汎民連南側本部の幹部に対する大々的な家宅捜査を行いました。

西海平和協力地帯構想という大きな枠組みを説明しながら出てきうる発言を「NLLを放棄した」と喧伝し、統一運動家を不当逮捕することで『従北主義』から大韓民国を守る国情院」を演出しようとしているのです。

燃え広がる「国情院解体」「反朴」のキャンドルの炎

今後、国政調査の推移によっては国民の批判がさらに強まり、「国情院解体」の要求の声が高まり、朴大統領の進退問題にまで発展しかねないでしょう。朴政権が、世論を主導する進歩勢力や野党に対する弾圧、分裂策動を強めた場合、韓国政治は重大な局面になると言わざるを得ません。

そもそも、国情院による政治介入で何とか「当選」した朴槿恵大統領に、正当性はあるのかという指摘は言いすぎでしょうか。

歌い継ぐ闘争の歴史

愛も名誉も名も残さず...

『님을 위한 행진곡』

ニムル ウィハン ヘンデンゴク

集会が始まる前、全員が立ち上がる。黙祷の後、握り締めたこぶしを振り上げ、全ての参加者の力強い歌声が響く。そう、その曲こそが『님을 위한 행진곡(あなたのための行進曲)』です。

1980年の光州民衆抗争の中で亡くなられた烈士に捧げる歌であり、その精神を継承して自らが前に進む決意を込めて歌う。80年代以降に韓青に参加したことのある人ならば、必ず歌ったことのある一曲ですよ。この曲を聞くだけで、胸の奥がカーッと熱くなるという方は、韓青盟員をはじめ全国にも多いはず。

もちろん韓国でも集会の前には必ず歌われています。民主化闘争や統一運動の半ばで倒れた先達たちの歩み、民衆の積み上げ

てきた歴史を胸に刻み、生き残った人たちが自己の意志を確かめ合い、逆境を乗り越えて力強く進む歌として、いまなお歌い継がれているのです。

しかし今年5月、就任一年目の朴槿恵政権はこの『님을 위한 행진곡』に対して、5・18記念式で歌うことを禁止。33周年5・18民主化運動記念式は、政府と光州地域市民社会団体が別々に開催するということになってしまいました。「国民大統合」のスローガンも寒々しい限りです。

また、韓国国内の総合編成チャンネル<チャンネルA>が「5・18は北韓の特殊部隊が介入した武装暴動」というとんでもない放映をしたりと、朴槿恵政権の就任一年目にして民主化の歴史、闘いを歪曲するような動きが出てきています。

「光州を二度殺す」このような野蛮な策動を許してはいけません。私たちは光州精神の継承者として『님을 위한 행진곡』を歌い継がなければならないでしょう。愛も名誉も名も残さずに倒れていった同志の後に続き、真の民主化と統一に向けて。



日のための行進曲
愛も名誉も名も残さず
一生を捧げようと思いついた
旗だけが今はなく
新しい社会が訪れるまで
涙は流れても
山河は知っていて
ふたたび目を覚まし
消えるこの叫び
先に立つて進むから
生き残った者よ
後に続け



映画紹介

南営洞1985



韓青の歴史学習で知った信じられような事実。私たちが生まれた80年代の韓国は、軍事独裁国家であり、権力犯罪によって多くの人々の人生が奪われていったということ。韓国国内ではもちろんのこと、在日同胞にもその魔手は及んでいたということ。その歴史と地続きに、いまの韓国社会があるということ。韓国民主化運動のリーダーだった故金鍾泰（キム・グンテ）氏の実話を基にしたこの映画では、過酷な時代の真実が描かれています。韓国の国家権力が再び個人と民主主義を蹂躪しようとしている今こそ、「誰も知らない」真実と向き合うことが求められて

いるといえるでしょう。日本では未公開ですが、韓青盟員は必見です。

<あらすじ>

全国民の呼吸ですら検閲する軍部独裁が猛威を振るっていた1985年9月4日。民主化運動家だった金鍾太（キム・ジョンテ）は、ソウル南営洞の治安本部「対共分室」に目隠しのまま連行された。家族や外部との一切の音信も絶たれ、暗く冷たい床の上で、拷問により虚偽の自白を強要される。ためらいもなく残酷な行為に及ぶ捜査官に屈せず供述を拒否する金鍾太だったが、そこに「葬儀屋」と呼ばれる拷問技術者の李斗漢（イ・ドウハン）が登場し、彼の人生を根こそぎ奪い取る残酷な22日が始まった。大韓民国の現代史から消えた22日。消されてはならない記録が今ここに繰り広げられる。

制作年：2012年 上映時間：106分

監督・脚本：鄭智泳（「折れた矢」、「ホワイト・バッジ」他）

出演者：パク・ウォンサン（金鍾太役）、イ・ギョンヨン（李斗漢役）他

※日本未公開作品ですが、7/6(土) 大阪、7/7(日) 東京で自主上映会が開催されます。

詳細 → <http://www.jeju43.sakura.ne.jp/nam1985/namyeongdong1985japan.html>

editor's letter

『韓青通信』リニューアル第一号はいかがだったでしょうか？ページ数こそ変わっていませんが、念願だったオールカラーページ化が実現！紙もつるつるになって、生まれ変わりました。

手探り状態でのリニューアルだったので、これからも改善していく部分があると思います。進化のための痛みならば編集部一同積極的に受け入れますので、「この方がいい」「こんな企画なら思わず読んじゃう」「もっと写真多く」などご意見をじゃんじゃんお寄せください。

またリニューアルに際して、活動の情報発信だけでなく「全国の盟員が交流できるような紙面作り」をキーコンセプトに発行していこうとなりましたので、参加者の声や寄稿などもどんどん載せていきます。硬派なものから軟派（笑）なものまで積極的に採用しますので、全国の投稿戦士よ、いまこそ腕を揮うべし！

宛先は → chuo@hanchung.org